

久保・長江中学校区に係る小中一貫教育校開校準備委員会（第7回）議事録

- 1 日 時 令和6年4月19日（金） 19:00～20:25
- 2 場 所 尾道市役所 4階 委員会室
- 3 出席者 宮本教育長
出席委員 久保小学校長、長江小学校長、土堂小学校長、山波小学校長
久保中学校長、長江中学校長
久保小学校育友会長、長江小学校育友会長代理、土堂小学校育友会長
山波小学校育友会長、久保中学校PTA会長、長江中学校育友会長
中瀆教育総務部長、小柳学校教育部長、末國庶務課長
安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
事務局10人

4 進 行

| 担 当 | 内 容 |
|-------|--|
| 宮本教育長 | <p>(19:00 開会)</p> <p>教育長挨拶</p> <p>皆さん、こんばんは。桜の季節が終わりまして、これからは、若葉新緑の季節になろうというところでございます。これ以上あまり暑くならないこの時期が、もうちょっと長く続いてほしいなど、きっと多くの方がそう思ってらっしゃるんじゃないかなというふうに思います。皆様には、昼間のお仕事等で大変お疲れのところ、開校準備委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。希望に満ちた新年度がスタートいたしまして、各学校では新入生を迎えて気持ちも新たに学校教育目標の実現に向けて歩みを始められたところではないかなというふうに思います。教職員の人事異動や育友会、PTAの役員の交代等がございまして、この準備委員会におきましても新たなメンバーをお迎えしてのスタートというところでございます。教育委員会といたしましても、令和7年4月の尾道みなと小学校、尾道みなと中学校、そして山波小学校で構成する尾道で初めての小中一貫教育校の開校に向けまして、より一層気持ちを引き締めて開校準備に全力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>さて、本日は前回の開校準備委員会以降の進捗状況や各部会の進捗状況の報告をはじめ、本で行いました第3回の議員説明会の状況等についての報告説明、また、情報交換などが予定されています。皆様からお気づきの点やご意見、ご質問などをいただきながら、今後の取組の充実につなげていければと考えております。子どもたちがワクワクして開校の日を迎えることを私は夢見ているんですけれども、皆さんでお互い知恵を出しながら一つ一つの課題を解決して開校に向けて計画的かつ着実に</p> |

| | |
|------------------|---|
| 委員等 | <p>進んでいきたい、そのように思っております。ぜひお力を貸していただきますようお願いいたします。以上、簡単ではございますが、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。</p> <p>(委員等自己紹介)</p> |
| 小柳委員長 | <p>1. 進捗状況の報告</p> <p>前回の開校準備委員会以降の進捗状況の報告を行う。まず、尾道みなと中学校区小中一貫教育校開校準備委員会の推進体制であるが、開校資料1をご覧ください。今年度、教職員の人事異動や教育会事務局の人事異動によっていくらか構成メンバーが変わっている。そちらの方の名前を入れている。あとは育友会PTA代表のところ、総務等検討部会、生徒指導等検討部会のところを、ここには人数を入れていたが、そこに入られるお名前と人数等を事務局に連絡していただきたいと思っている。</p> <p>開校資料2に、これまでの状況をまとめている。3月19日以降行っている部分は、太字で表している。網掛け色付きのところは基本的には3月19日までの開校準備委員会等でもう結論が出ている中身になるが、まだ網掛けになってないところは現在検討が進行中ということである。今後も進捗状況を確認しながら進めたいと考えている。それと、開校準備委員会日よりNo.7を付けている。3月27日に発行した。保護者、地域、議員にも紙媒体や電子データ等で提供をしている。市のホームページにも掲載し、幅広く、皆様方に議論している中身の周知に努めているところである。</p> |
| 総務等検討部会長（土堂小学校長） | <p>2. 部会の進捗状況と今後の予定について報告</p> <p>○総務等検討部会</p> <p>今後の予定についてです。次回の第4回総務等検討部会は4月24日（水）になる。土堂小学校で開催予定となっており、主に施設整備についての協議を予定している。詳しくは事務局より報告する。</p> |
| 事務局（石川庶務課管理係長） | <p>事務局より補足を行う。今後、新校舎の設計業務が議題。新校舎の設計については、本日議員説明会を行った。本日の開校準備委員会でもその内容を共有させていただく。保護者や学校関係者からの意見を伺うとともに、その情報を各学校に持ち帰っていただいて、次の第5回総務等検討部会を5月27日頃に開催して、意見交換を行うというような流れを考えている。その他、校章・校歌、閉校記念事業についても、随時、現</p> |

| | |
|---------------------------|---|
| <p>生徒指導等検討部会長（長江小学校長）</p> | <p>在の状況を報告していく。</p> <p>○生徒指導等検討部会 前回の開校準備委員会以降、部会は開催していない。ただ中学校の制服について、スーツ型か、ブレザー型かについては、各所属において検討してその結果を3月末までに集約することになっていた。本来なら、結果については、生徒指導等検討部会で先に報告をして確認をすべきところであるが、日程の都合上、先に開校準備委員会でお伝えする。4小2中での検討の結果、スーツ型が4校、どちらでも良いがスーツ型の方が多いが1校、ブレザー型が1校という結果であった。この結果を受けて、原案とおりで進めていくことについて、次回の生徒指導等検討部会で確認をする。第5回生徒指導等検討部会は5月7日火曜日19時から久保中学校で開催する予定である。内容についてはレジメにもあるように4点。1点目は、学校規定品の検討をする。第4回部会で学校から提案があった制服、その他、体操服や鞆、靴、学校規定品の提案について、各所属に持って帰って協議していただいた内容の報告と協議を行う。2点目は通学路の合同点検の結果を踏まえての危険箇所の対策案を事務局より提案をする。通学支援と関係する部分もあるので継続して協議を行っていく。3点目は通学支援や中学校の自転車通学の在り方も検討を行う。事務局から提案があった路線バスを利用した通学支援策について、各所属に持ち帰って協議していただいた内容の報告と協議を行う。また自転車通学についても継続して協議を行う。4点目は生徒指導等生徒指導規程の検討である。通学支援の在り方や自転車通学の在り方が決定してからはなるが、児童生徒の学校での過ごし方の決まりである生徒指導規程について今後検討を行っていく予定である。</p> |
| <p>教育課程等検討部会長（山波小学校長）</p> | <p>○教育課程等検討部会 はじめに進捗状況であるが、前回の開校準備委員会以降、部会の開催は行っていない。現段階で児童生徒に、育てたい資質能力については、つながる知識、表現力、主体性、協働性、この4つを決めている。については、第3回の教育課程等検討部会で2つの案が出されていたので、校長会での協議を続けている。併せて、今後、児童生徒間交流等を行っていくので、令和7年度に向けてさらに検討を加えていく予定である。児童生徒の交流、内容等の時期については、各学年で何月頃どのようなことをするかというのはある程度はもう決まっている。例えば5年生であれば野外活動、いわゆる林間学校のところ、これが10月。6年生であれば外国語とそれに合わせたレクリエーションなどを含めて11月という</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>安保副委員長</p> | <p>ふうに決まっている。1年生から4年生においては、これからの授業交流や社会見学などの機会を捉えて交流を進めていく予定としている。</p> <p>中学校の方はもう既に部活の練習試合などがあるので、このあたりから合同練習を企画したり、尾道市のリーダー研修会の開催に合わせて、前段で交流、連携を行うなどのことを考えている。</p> <p>次に、今後の予定である。第4回の検討部会であるが、5月7日(火)山波小学校で引き続き、教育課程と教育内容等の検討をしていく。さらには、先ほど言った行事の日にちの確定を進めていきたいと考えている。</p> <p>3. 報告事項について</p> <p>○第3回議員説明会について</p> <p>I 開校に向けた進捗状況について</p> <p>本日、第3回議員説明会を行った。通学路の安全対策と通学支援について、それから校章・校歌について開校準備会だよりNo.6とNo.7を用いて説明した。議員からの質問は、この件については特になかった。</p> <p>II 施設整備について</p> <p>1. 小中一貫教育校の教育内容について、2. 尾道みなと小学校・尾道みなと中学校新校舎設計業務について、(1)小学校における設計について、(2)中学校における設計について、3. 今後のスケジュールについて、の順で説明する。</p> <p>1.小中一貫教育校の教育内容について</p> <p>尾道みなと小中学校と山波小学校で構成される小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校である。小中一貫教育校の学校教育目標は「夢と志を抱き、未来を拓く子どもの育成」、校訓を「自律」「創造」「挑戦」とし、目指す子ども像は「郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども」としている。学校教育目標や目指す子ども像を実現していくために世界を意識した「グローバルな学び」と、ふるさとの尾道を意識した「ローカルな学び」による、尾道らしさのある9年間の学びを創造していくことが大切だと考えている。英語教育やキャリア教育の充実を図っていくとともに、これまで各学校で引き継がれてきた特色ある教育活動を再構成し、新たな学校文化を育んでいくことができるよう、現在、学校と教育委員会で教育内容の検討を行っているところである。教育内容を充実させ、子どもたちが様々な体験を通して学校で学んだ知識や情報を結びつけながら、</p> |
|---------------|---|

| | |
|---------------------------------|---|
| <p>事務局（石川 庶務課管理係 長）</p> | <p>同学年だけではなく、異なる学年の児童生徒や地域の人々と協力して具体的に問題解決を図っていく学びを充実していくことで、「知」「徳」「体」をバランスよく育み、変化の激しい社会の中で活躍するために必要な生きる力を育成していく。尾道らしさのある9年間の学びの創造に向けて、教育内容の充実を図るために、教育環境の整備として、次の2点を考えている。</p> <p>1点目は、ワーキングスペースによる学び合いの充実である。児童生徒が主体的に考え、共同的に学んでいく学習過程において、各自の机に座り、黒板の方を向いて学習することばかりではなく、児童生徒がグループで話し合ったり、プレゼンテーションをしたり、様々な活動が考えられる。そこで、ワーキングスペースと呼ばれる活動スペースがあると、より活動の幅が広がることが期待される。また、児童生徒が自ら課題を設定し、課題解決に向けて追求していく過程において、本やインターネットで調べる機会も多くあるので、図書室においても図書を充実させるとともに、調べたことをもとに話し合ったりまとめたりするなどの活動が可能なワーキングスペースを整備したいと考えている。</p> <p>2点目は、専科教室等による教科指導の充実である。将来的に児童生徒数が減少し、創出された教室は英語教室等の専科教室や少人数指導教室にする予定である。例えば英語教室として活用する場合には、教室全体の掲示物や座席配置等工夫し、英語を学ぶ環境を充実することができる。また、国語や算数数学等の学習において少人数に分かれて、児童生徒の習熟に応じた学習が展開することも可能となる。学級が減少することに伴って生ずる空き教室を、学習環境をより充実させる観点から有効に活用していきたいと考えている。</p> <p>2. 尾道みなと小学校・尾道みなと中学校新校舎設計業務について</p> <p>ここから、尾道みなと小学校・尾道みなと中学校、新校舎設計業務について説明する。まずは進捗状況である。小学校、中学校と契約を分けて業務委託契約を締結し、事業に着手している。令和5年12月に小学校は株式会社村田相互設計で、中学校は株式会社K構造研究所とそれぞれ契約を締結し、設計業務を進めている。現在は令和6年6月に基本設計の完了を目指して事業を進めている。基本設計においては、敷地内の建物の配置、構造の規模を概ね決定し、その後は工事発注に向けた数量等の算定を行うため、実施設計に入っていく予定である。建物内の設備など詳細は実施設計段階で検討をしていく。最終的には令和7年2月に設計業務を完了する予定である。設計における検討事項であるが、(ア)校舎の規模、構造などについて教室数・教室の面積、プール等について</p> |
|---------------------------------|---|

(イ) 敷地内の建物などの配置について校舎の配置・グラウンド面積など。2点について、段階的に検討を行っている。これらの検討においては、教育環境の充実に対応した学校施設の整備として、特に「新しい学習環境への対応」「児童生徒の安全安心の確保」を目的として、どのような施設が必要であるか、具体的には学校内の諸室数や設備について検討を行い、校舎の規模、構造などについて検討を行っている。ここで、まずは令和5年9月現在での説明内容を振り返らせていただく。新校舎は令和9年4月より供用開始の予定である。小学校は5階建て屋内運動場付きの校舎(5280㎡)と、プール(建物部分200㎡)の計5480㎡を整備する予定である。また、中学校は既存の屋内運動場を引き続き利用し、3階建て計4800㎡の校舎を新築する案を説明している。設計業務において、次の点を見直しながら業務を進めている。

まず、小学校における整備学級数であるが、当初、検討時は令和4年5月1日時のデータで12学級の整備を予定していたが、この度、最新の令和5年5月1日現在のデータで10学級規模での整備へ見直しを行っている。整備する普通教室については、最終的に令和6年5月1日現在のデータで基本設計を行う予定である。また、今後の学級数減少による普通教室の減に伴い普通教室の転用を考慮したこと、特別教室を多用途に利用することで、整備諸室の減を図り、整備面積の削減に努めている。さらには教育環境の充実を図るため、プールを地上設置から屋上設置へと変更して、グラウンド面積を確保すること、教育環境の充実を考慮した校舎設計(レイアウト検討)を行うなど、検討を重ねている。その結果として現在の案では小学校について4階建て、校舎に屋内運動場、プールを備えた延べ床面積5042㎡の案、中学校は3階建て延べ床面積4602㎡の校舎とする案を持っており、当初の整備面積より約600㎡の縮減を図っている。

(1) 小学校における設計について

(ア) 校舎の規模・構造等について

ここから小学校、中学校ごとに現在の設計業務の進捗状況検討内容の詳細を説明する。(1) 小学校における設計について (ア) 校舎の規模・構造等について (イ) 敷地内の建物等の配置についての順でご説明する。

まずは、校舎の規模・構造等についてである。小学校として、冒頭で説明した教育環境の充実に対応した学校施設について、設計案をまとめている。これを「基本設計案」と呼ぶ。特徴としては、従来64㎡程度である普通教室を84㎡とし、ワーキングスペースやタブレット学習に対応した教室を整備することとしている。今後の学級数の減少により、普

通教室を英語教室等に転用し、教科担任制導入による教育環境の充実を図ることとしている。また、当初案では地上に配置していたプールを屋上に整備し、グラウンド面積を確保することという点を中心に新しい学習環境に対応した学校施設を整備したいと考えている。現時点では令和5年5月1日の調査における令和9年4月現在のクラス数を基に設計し、普通学級10クラス（特別支援学級は2クラス）で諸室を設計している。校舎2階、3階を中心に84㎡の普通教室を整備、グラウンドを確保するためにプールを屋上へ設置、2階に図書室を中心とした特別教室ゾーンを設置することで、グループ学習や個別最適な学習に必要な環境を整備し、学級数減少後には特別支援学級の増加への対応の可能性もあるが当初の普通教室を英語教室へ転用し、学習環境を充実する案である。また、令和9年4月1日現在では、放課後児童クラブは、現長江中学校既存校舎内へ設置する予定であるが、学級数減少により、校舎内に余裕が生じた場合は、校舎内への移転も見据えている。改めて比較表として説明する。従来案では5階建て、延べ床面積5480㎡であったところ、基本設計案では、整備する普通教室数も見直し、4階建て5042㎡と面積を縮減している。プールについても従来案では地上設置であったものを屋上に設置し、グラウンド面積を大きく確保している。校舎の構造も従来案では、5階建てであったが、基本設計案では校舎を中心に、日当たりの関係のない部屋を配置することで、4階建てとし、新しい学習環境の創出として、フリースペースに伴う廊下部分の有効活用や図書室を中心とした特別教室ゾーンの創出を図っている。

(イ) 敷地内の建物等の配置について

敷地内の建物等の配置についての検討である。レイアウトについても、案1のとおり、当初案の位置ではなく敷地西側（北高側）への配置を行うことで、校門からの来訪者（不審者）の確認の観点で、有利な利点もあり、検討を重ねている。現在、設計会社により、日陰や道路斜線制限等法令の最終確認を行っている。未確定な部分もあり、現実では位置についてはまだ確定していない。場合によっては、案2のように、当初案で検討している敷地東側（長江通り側）に配置する可能性もまだある。このことについては、確定しだい情報提供させていただきたいと考えているのでご了承いただきたい。

(2) 中学校における設計について

(ア) 校舎の規模・構造等について

教育環境の充実に向けて、特徴としては、小学校同様、従来は64㎡程度である普通教室を84㎡とし、ワーキングスペース・タブレット学

習に対応した教室を整備することとしている。図書室を中心とした特別教室の配置によるワーキングスペースの創出をすること。すなわち、「共有のフリースペースのグループ学習ができる」「タブレットや書籍を活用した個別学習ができる」空間を創出することとしている。今後の学級数減により普通教室を英語教室等へ転用し、専科教室による教育環境の充実も図ることとしており、新しい学習環境に対応した学校施設を整備したいという案である。令和5年5月1日調査における令和9年4月現在のクラスを想定を基に設計し、普通教室数は9クラス（特別支援学級は4クラス）で諸室を設計し、普通教室の大きさは84㎡、2階を普通教室ゾーンとし、集中的に配置している。このことにより、3階を図書室を中心とした特別教室ゾーンとし、ワーキングスペースを創出することで、グループ学習や個別最適な教育に必要な環境を整備し、教育環境の充実を図ることができる。学級数減少には特別支援学級の増加への対応の可能性もあるが、当初の普通教室を英語教室等へ転用し、専科教室による学習環境の充実を図っている。

(イ) 敷地内の建物等の配置について

中学校の検討における敷地内の建物等の配置についての検討状況を説明する。尾道みなと中学校の新校舎の建築位置についてであるが、当初提案させていただいたとおり、現在の久保中学校の敷地北側に建設する計画となっている。既存校舎を解体し、グラウンドとテニスコートを整備する計画となっている。改めて比較表としてご説明する。従来案では3階建て、延べ床面積4800㎡であったところ基本設計案では、3階建て4602㎡と面積を縮減している。校舎内のレイアウトについても3階全体を特別教室ゾーンとし、小学校同様、新しい学習環境の創出をしてフリースペースに伴う廊下部分の有効活用や、図書室を中心とした特別教室ゾーンの創出を図っている。また教室転用後の英語教室等（専科教室）による学習の充実も図っていく予定としている。

3、今後のスケジュールについて

校舎の規模、構造等について、敷地内の建物等の配置について保護者の皆様のご意見をお伺いする予定としている。その結果、令和6年6月に基本設計業務を完了するということとしている。最後に、統合小中学校と山波小学校が児童生徒にとって、毎日楽しく生き生きと教育活動ができる学校、保護者・地域から愛され、誇りに思える学校目指し令和7年4月の開校、令和9年4月の新校舎使用に向け全力で取り組んでいく。

以上、議員説明会と同じ内容を開校準備委員会の方で説明をさせてい

| | |
|-----------------------|---|
| <p>末國庶務課長</p> | <p>ただいた。この後4月24日(水)の総務等検討部会においても、ほぼ同じような内容をご説明させていただく。そこで当然すぐ出る意見というようなものも交換させていただきながら、早めに5月2日ぐらいまでには説明資料を皆様の方にお配りし、第5回総務等検討部会を5月21日(火)頃に開催させていただいて、その後5月24日開催予定の開校準備委員会に説明することを考えているところである。この動きについては、4月26日の総務等検討部会でも流れを協議して動いていくというふうに考えている。</p> <p>続いて、施設整備に係る議員説明会での質疑だが、事業費の削減を求める厳しいご意見というものを複数いただいた。教育委員会としては、引き続き議員の指摘について意識をしながら、子供の安全・安心な施設と学習環境の充実、それとともに今後の少子化も見据えた施設の整備という部分について、説明を尽くしていきたい。</p> <p>(質疑応答)</p> |
| <p>質問者A</p> | <p>せっかくの機会なのでお聞きする。小学校の校舎に関して、1クラスだけ普通クラスが1階にあって、他が全部2階3階に分かれているが、これって何か意味があるのか。先ほど言われたように各学年との交流って言われているが、1階の1クラスだけここにあるのがどうもその配置的によく分からない。</p> <p>特別支援教室が、中学校に4つあって小学校は2つしかない理由は。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>まず、特別支援教室の数からお答えする。あくまで令和5年5月1日現在の数字において今、建物の中の特別支援教室というものを定めたが、会議室とかその他いろんな部屋の諸室数については、令和6年5月1日現在の数字で決めるので、まだそこについては流動的であることをご了承いただきたい。あくまで、今皆様にお配りしたデータが特別支援教室小学校2、中学校4これはそういう意味でご了承いただきたい。今は特別支援学級も増えている、今後整理することをお願いしたい。そして今1階にプラスしていいと思っているので、固めるのがいいと思う。最後、基本設定終了時においては、普通クラスを2階の方に変えようかなという思いはある。今はあくまで設計会社に頂いた案を中心に資料を作らせていただいたという事情がある。そこについてはちょっと配慮できるようにと思っているので、そういう状態であることをご了承いただきたい。</p> |

| | |
|----------------|--|
| 質問者B | 配置図に、案1と案2がある。案1が不審者対策とおっしゃったが、どこからも入れる状態で不審者対策になるか。 |
| 事務局（石川庶務課管理係長） | 総務等検討部会でもゆっくり議論したい。今お答えすると、校舎西側に配置するメリットのひとつとして不審者対策を挙げさせてもらった。校門は長江通りのT字路側になるけれども、そこは見通しが利いているというところから確認しやすいかなと。もし案2になれば、職員室から校門の距離が近く死角も多いので、そこについては、どちらかといえば来訪者が見えるのは案1かなというところである。こういうところについてもいろんなご意見があると思う。そういうところをお聞きしながら最終的に決定していくという段階である。また、いろんなご意見をいただきたい。 |
| 質問者C | 中学校のレイアウトで、教室を一つにまとめるとメリットもあるが、教室が一緒の階にあるとデメリットもあるのではないかと。3年生の受験シーズンに外がざわざわしているとやはり気になるかと。1年生が3年生の前を通りにくいだとか。いろいろあるのでデメリットの方も考えていただけたらと思う。 |
| 事務局（石川庶務課管理係長） | まさにそういうところについては、今後総務等検討部会、学校関係者の方々の意見も踏まえながら決めていく段階である。そういうところで今、進めていきたいのは校舎の規模である。3階建てで全体が約4600㎡なるというところを決定事項とさせていただきたい。今後議論の中で今のような、建物内の配置、こういうものも変えた方がいいよということであれば修正、検討を行う。そこを来月に向かって総務等検討部会での協議を重ねていきたいので、今のご意見もメモして検討材料とさせていただき、改めて総務等検討部会での意見も聞きながら決めていく。 |
| 質問者D | 学区外から通われている生徒さんもいる。そういう家庭は一人で歩いて来られないので、送迎になると思う。公共交通機関を使われる方もいると思うが、送迎の場合、その車を止められるのか気になっている保護者の方が多いのでお知らせいただきたい。 |
| 事務局（石川庶務課管理係長） | 決定というところまではいかないが、我々のイメージの中で送迎スペースについては既存の校舎側のスペースというものも考えながら決めていこうと思っている。それと現段階でまだ建物の構造というところに集中しているが、最後はそこも含めて検討していく。皆様のご意見を伺い |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>質問者E</p> | <p>ながら検討していきたい。</p> <p>通学路について、校門の場所がT字路のところと言われたんで、裏通りを通して、そして長江通りに出て正面の校門に入るってことになるのか。わざわざ交通量が多いからって裏道を通らせたのにこれでいくと、裏道を通して表の道を通して一番交通量の多いところから校門に入るのか。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>その詳細は、新しい学校ができた時に徒歩で通う子供の動線、先ほど出ました送迎の車の動線そういうところまでは決定をしていないところである。現在のように、裏門というか、ああいうところの利用というものも可能性を残しながら、ここについては通学の全体のことになるので、生徒指導等検討部会と含めて、検討していくということで連動して決まっていくことになる。そのあたり安全な対策というものを念頭に入れてまとめ上げていきたいと思っている。</p> |
| <p>質問者F</p> | <p>体育館の大きさのイメージが平図面だけだと湧かない。今の長江中学校の体育館とどれくらい違うのか。それと屋上のプールになった。これは一度にこれが出来てくれることは、多分小学校としてはすごくありがたいことだと思う。それで大きさがイメージしにくい。今の長江小学校のプールとどれくらい大きさが違うのかなっていうのが少し疑問なので、そこを説明していただきたい。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>プールは4コース。25mを新校舎で計画している。</p> <p>体育館の大きさは、長江中学校が約1000㎡ということでそれよりも少し小さなものになるが、現在の長江小学校の体育館とほぼ同規模ということである。</p> |
| <p>質問者F</p> | <p>体育館付近の教室の騒音はどうか。プールの日除けはあるのか。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>まずプールの日除けについては、今向島中央小学校がそのような体制をとっている。そこでの反省点というか、もしこんなのがあったらなっていう意見を吸い上げて、参考にしていこうと思っている。体育館の横の部屋の騒音というのは確かに気になるというのは分かるが、我々も、他市町のそういう体育館が横にあるような学校の視察も行わせていただいている。その学校において隣がうるさくて、授業にならないというコメントはいただいている。それなりの対策はとってあると思うので、</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>質問者F</p> | <p>そこは設計会社と意見交換しながら進めさせていただく。</p> <p>こうなれば長江中学校の体育館を同時に、壊すことも可能になってくる。そうすると、裏道を通してグラウンドの中に入っていけないか。あっちから登校してくるのであれば、そこに入り口ができれば、グラウンドの横から、入れるんじゃないかなと思う。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>参考にさせていただく。</p> |
| <p>質問者G</p> | <p>同じ付けるなら今の配置には屋外のトイレがない。今、長江中学校であれば体育館前にあるが、1回1回教室に入るっていう大変さもあるので、できれば検討する案の時に、屋外のトイレも明記していただくようお願いしたい。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>必ずということではないが、検討させていただく。</p> |
| <p>質問者H</p> | <p>2点ある。1点は、お願いというか、屋内体育館は暑さが非常なので、考慮した設計をお願いしたい。</p> <p>もう1点は、この統廃合して新しい小学校を創るメリットとして、1校だけだと、少人数になるから複数学級を求めて、統廃合したいと。どうしても人数の関係ではないことであると思うが、なんかさっきのお話を聞いていると、お金の部分ばかり考えて、10教室にして、ゆくゆくは6教室を想定しているっていうふうになっていると。何のために統合して新しい学校を創っているのかなっていうのがすごく疑問に思っている。私はまだ当事者なので事情は分かるけど、3小2中以外の方からしたら、なんでそんな学校に大金使っているんだっていうふうな印象もあるので、私の個人的な意見としては、せめて2教室づつはあった上で、人数減るかもしれないですけど、今後、整備されて、人数が増えることも、想定して建てるべきなんじゃないのかなと感じている。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>2つあるうちの後の課題というものが、いろいろと我々も思いもありながら、より良い教育環境というところもあるので1つのご意見としていただいて、検討してみようと思っている。</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>質問者 I</p> | <p>屋内運動場は、暑さ対策として空調をつける予定である。夏場の暑さは軽減できると思う。</p> <p>タブレットを使った教育ということだが、通信において、今の場所では容量が足りてない。そこに関して学校を創って教室を作ってタブレットを渡して使えませんかという状態である、今のままだと。人数増えていますから、そこに対しての対策をお願いしたい。</p> |
| <p>事務局（石川庶務課管理係長）</p> | <p>新しい施設を造るわけですので、そういう課題があるというところについては解決できるよう内部でも話をする。そういう通信環境部局もある。そこと連携して、今のような事象が起こらないような対策を再確認しながら進める。</p> |
| <p>質問者 J</p> | <p>最初は、2クラスの教育規模のメリットを言っていた。人数が減ってしまうから教室を減らしましょうではなくて、学校選択で他から人を集めて、素晴らしい学校を創る予定はあるか。2クラスをキープする考えはあるか。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>新しい学校を創るということで、令和4年11月22日には、すべての学年で複数学級ができると信じていたが、令和5年度になると、2学年が1クラスになることが分かった。議会でもいろいろ議論させていただいているが、使用する時にすでに空き教室が生じる状態というのはどうなんだろうかということで議論をさせていただいて、現在では、開校当時に、空き教室の生じないような設計ということで今日提案をさせていただいている。私たちとすれば、子供たちの教育環境充実を目指して、教科担任制、少人数制に対応していく。1学級を2学級にするようなかつての土堂小学校、長江中学校のような考えはない。学級数を増やさない中で学校選択制度を行っていく。</p> |
| <p>質問者 K</p> | <p>空き教室がどうのこうのって言われるのもそうだが、この先少子化で学校の数が減っていく中で、どうせ統合の対象になる。だから今1学年2クラスしか作れないにしても今後、少子化に伴う統廃合によって、統廃合される学区の受け皿になり得る、そういう考え方もあるのかなど。だから今の時点で空いているからではなく逆に10年後を見据えたときに多分子供の数なんて尾道市内で半分以下になっている。そうすると当然学区、学校の統合も必要だし、学校数も必要なくなってくる。なら逆に10年後を見据えて統合を、さらなる統合のときに使える学校って</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>質問者L</p> | <p>うのも一つの案なのかなと思った。なんか何が何でも議会の方が予算しか言わないのもちょっとどうなのかなとは思いますが、それに合わせて予算を削りますって言われるのもどうかなと思ったんで。これは意見として。</p> <p>私も同じような意見である。これまでこの問題を聞いてきてやっぱり説明を受けたのは複数学級での学年がある方がいいっていう説明であった。今日改めて資料を見て6学級になるのは令和15年度って書いてあってこれは認めているのかなっていう感じで受け止めた。やっぱり将来的に受け皿になるように今きちんとした設備を造ってそこに集められるように考えていた方がいいんじゃないかなっていうふうに思った。今回の統廃合の件も、耐震化の問題から急に子供の数が減ってくる。小学校だけかと思ったら中学校も対象になった。行き当たりばったりみたいな感じでなってきたので、先のことも見据えてもらえたらなっていうふうに思う。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>様々なご意見があると思うが、私達も保護者の皆様や、学校の先生方の意見もしっかりと聞かせていただきながら、どんな校舎が子供たちや保護者の方、地域の方から誇れる学校になるのか考えてまいりたい。</p> <p>まずは、来週水曜日に、総務等検討部会でも同じ説明をさせていただいて部会の方に意見をお伺いし、一旦所属に持って帰っていただいて、意見をまた出していただいて、5月の総務等検討部会で所属としての意見も聞かせていただきたいと思います。それを経て、次回の開校準備委員会でも共通認識を持った上で、また私たちの設計業務に活かさせていけたらと思っているので、忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思う。</p> |
| <p>事務局（宮崎学校経営企画課企画振興係長）</p> | <p>○閉校式・閉校記念事業の開催日について</p> <p>3月2日は市子連の駅伝大会があるので、削除させていただいて代わりに3月15日土曜日を設けさせていただいた。3月1日、3月8日、3月9日、3月15日の4日のうちで閉校式・閉校記念事業を行いたい。土堂小学校・育友会の方からは、希望日を伺っている。他の小学校中学校からも5月の連休明けには閉校式・閉校記念事業の実施希望日をお知らせいただければと考えている。またお知らせいただいた日程を事務局で調整して、5月中には決定していきたい。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>補足である。終業時期、夏季休業に入る日に違いがある。若干、通常よりも遅くなっている。それから3月のところで言うと、卒業証書授与式、中学校は市内共通に開催日できると思う。小学校の方は3小は17</p> |

| | |
|--------------|---|
| <p>質問者M</p> | <p>日月曜日。修了式の方は、中学校、小学校も引っ越しがあるために早めになっている。これらも合わせて確認をお願いします。地域によっていろんな事情があると思うが、やはり私たちも閉校式や閉校記念事業の日にちをまずは決定したいと思っているので、できたら5月の連休明けというところがいいが、なかなか地域の集まりがそれまでなかったりするかもしれないので決まり次第教えていただきたい。できれば5月中には調整をさせていただいて、それに向けて準備を進めていただけたらというのがあるのかなと思っている。また情報提供していただければと思っている。</p> <p>前回の開校準備委員会では4月中には閉校式の日程がお伝えできるというふうに伺っていたんで、私達は今日、日程を知ることができるかなと思っていたが、日程が決まらないと閉校記念事業等いろいろ考えてるが、それでいろいろなところをお願いすることもある。それを早めに動きたいんで、5月中っておっしゃったが、なるべく早めに決めていただけたらありがたい。</p> |
| <p>質問者N</p> | <p>閉校式は平日にはできない感じですか。例えば、卒業式と合わせてやるとかっていうことは。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>できるかできないかこの場ではちょっと分からない。けれども、まずは希望日を正式に決められたら言っていただいて調整の可能性はゼロではない。いろいろな考え方があると思う。今回5つの学校を同時に閉じるということなので多分、日程調整がかなり困難になる。考え方とかいろんな日程を出していただければ調整したい。</p> |
| <p>質問者O</p> | <p>閉校記念事業について、行政と地域とで話した内容の報告をいただきたい。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>開校準備委員会では報告をしていたが、そのあたりは配慮する。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>○校章・校歌について</p> <p>正式にまだ委託契約ができてないので、またお伝えできる時には、お名前をご紹介させていただく。校歌について、作詞作曲の方も今、地元出身の方、また地元に住まれている方で依頼を済ませている。これも委託契約の方がまだなので、締結後に発表させていただきたいと思う。これまで尾道市内の校歌の作詞作曲にも関わってくださっている方で一度</p> |

| | |
|-----------------------------------|--|
| | <p>は皆さん名前を聞いたことがあると思う。それで作詞に当たって、現在、校歌に込めたい言葉というのを募集している。4月26日まで募集している。その後、取りまとめて作詞家へ情報提供する。また開校準備委員会でも、どんな声が多かったのかというのは見ていただけるようにしていきたいと思っている。今のところ、どの学校も4月26日まで募集している。連休明けには、教育委員会に届いて集計できるかと思う。</p> |
| <p>安保副委員長</p> | <p>4. 各部会への検討依頼の内容について</p> <p>総務等検討部会については、先ほどご説明した施設整備のところについて、それぞれの方からの意見を集約していただけたらと思う。また、開校に向けた引っ越し作業等のスケジュールについてお願いします。</p> <p>生徒指導等検討部会については、学校規定品、制服以外のものもあるのでそういったところの意見の集約をお願いします。また通学路の合同点検を踏まえた危険箇所の対策案について、通学支援、中学校の自転車通学の在り方について、そして生徒指導規程等についてお願いします。</p> <p>教育課程等検討部会については、教育課程・教育内容等の検討をさらに進めていただけたらと思う。また、児童生徒間交流の年間スケジュールについてもよろしくをお願いします。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>5. 情報交換</p> <p>本日は、予定されている時間が迫っているので、情報交換の時間は省略とさせていただきます。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>6. 第8回開校準備委員会での協議事項等</p> <p>第8回開校準備委員会での協議事項等だが、今レジュメは空欄になっている。今後を開催される検討部会において決定される事項があれば決定していきたいと思うし、報告で済む中身は、報告にさせていただきたいと思う。今後の検討部会の状況を見て私の方で判断させていただければと思っている。</p> |
| <p>事務局（宮崎 学校経営企画 課係長）</p> | <p>（次回の開催日の提案）</p> <p>次回の開催は、令和6年5月24日（金）19時から市役所4階大会議室2で行う。</p> |
| <p>小柳委員長</p> | <p>日程の都合の悪い場合は、代理をたてていただいても結構である。よろしくをお願いします。以上で閉会する。本日はありがとうございました。</p> |

| | |
|--|------------|
| | (終了 20:25) |
|--|------------|